


<https://chiba.jtuc-rengo.jp/>

日本労働組合総連合会
千葉県連合会(連合千葉)

発行人 中島正敏 編集人 田嶋邦夫
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
千葉県教育会館 新館6階

TEL 043-201-2022 FAX 043-201-2023

No.225 2025年12月

2025

各地域協議会 地協定期総会開催

各地域協議会は、最高議決機関である地協定期総会を開催しました。

中央地域協議会



第8回定期総会
【日時】11月14日(金)【場所】オークラ千葉ホテル

総武地域協議会



第8回定期総会
【日時】11月14日(金)
【場所】京成労働会館

東葛地域協議会



第14回定期総会
【日時】11月21日(金)
【場所】ザ・クレストホテル柏

成田・佐倉地域協議会



第8回定期総会
【日時】11月21日(金)
【場所】成田ガーデンホテル

東総・香取地域協議会



第11回定期総会
【日時】11月29日(土)
【場所】銚子プラザホテル二階

外房地域協議会



第11回定期総会
【日時】11月12日(水)
【場所】長生教育会館

南総地域協議会



第11回定期総会
【日時】11月15日(土)
【場所】ユニオンセンター君津

連合千葉 第20回定期大会 会長挨拶

本大会は、次期第19期の向こう2年間の運動方針をはじめ、私たち連合に集う仲間の結集によって、連合に課せられた責務を再確認し、全ての働く者が安心して働き暮らしていける「働く事を軸とする安心社会の実現」をめざすために意思結集する、最高議決機関であります。これまでに経験が無い、先行きが見通せない社会情勢の中、私たち連合が、何が出来るのか、何をしなければならないのか、本大会での議論を契機に、皆で考え、組合員はもとより関係するみなさま、社会全体に亘るまで、多くの共感が得られる運動を推し進めていく決意を込め、18期の振り返りと課題認識などに触れ、冒頭の挨拶に代えたいと思います。

【平和について】

今年は戦後80年という節目の年です。

世界を見渡せば、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルとガザ地区の紛争など、完全な和平や、被災地の統治への先行きは不透明であると言えます。戦争は全く関係ない住民や子どもが真っ先に犠牲となり、生きていくことすら困難な状況に陥れる、極めて理不尽な行為です。残念ながら戦争を起こさない社会には程遠く、むしろ緊張感は増している状況にあります。とりわけ、戦争が起こってしまっている地域には、人道支援を最優先に、国際社会全体で支え、恒久平和と復興に向け取り組むことを願うばかりです。

連合は、国際労働機関などを通じて、対話による合意形成を図り、平和な社会をめざすことに取り組んでいます。平和は民主主義を守ることに繋がります。何事にも平和であることが前提にある、ということをおぼろげに再認識し、連合本部とも連携し取り組んでいきたいと思ひます。

【自然災害】

今年の夏は酷暑と言われる日々が続きました。働く職場では、相当な苦労や工夫を凝らし、細心の注意を払いながらも、使命感と責任感の狭間で仕事に従事されてこられたものと思ひます。職場における熱中症対策を強化するための改正労働安全衛生規則が施行され、熱中症の重篤化を防止するための「体制整備」「手順作成」「関係者への周知」が事業者者に義務付けられました。働き方改革をはじめ、働く環境改善に向けた法整備など進んでいるところもありますが、職場環境では多くの課題が山積しています。

命を守り、安心して働く事ができる環境整備は、企業の安全配慮義務はもとより、労使関係があるところは、労働組合としてのチェック機能も重要となります。引き続き働く環境における課題などお寄せいただければと思ひますし、激甚化する自然災害には、これまでの苦い経験なども踏まえた備えなどにも取り組んでいただくことをお願いいたします。

【2025春季生活闘争】

2025春季生活闘争では、全体では2年連続となる5%以上の賃上げを実現いたしました。

また、働き方についても、前進が図られたものと受け止めています。連合全体で獲得した成果によって、経済全体への波及効果も得てきました。一方、賃上げの効果が感じられない、暮らし向きにゆとりが無くなってきたという声が増加しています。また、企業規模間・業種間・雇用形態間の格差も広がっており、性差や人手不足への対応による世代間格差も課題となっています。

連合が2022年春闘から掲げた「未来づくり春闘」から4年、一定程度の賃上げは定着しつつあるものの、実質賃金は連合のめざす1%以上の上昇軌道には乗っておらずマイナスに推移しています。地域別最低賃金も千葉県では中央の目安を上回る額で結審しましたが、物価上昇が続く中、十分な水準とは言えません。これらは総じて、賃上げがすべての働く者へ行きわたっていないという表れでもあり、中小企業をはじめ賃上げの原資が十分に確保できていないことが大きな要因です。来年1月から施行される取適法の実効性も求められますが、2026春季生活闘争は、これまで以上に厳しい交渉になることが想定されます。

連合千葉は、賃上げは道半ばという認識のもと、物価上昇対策、価格転嫁に資する構造的な課題とともに、働く者への適正な成果配分の視点で、社会対話や世論喚起を中心に、更に踏み込んだ取り組みを進めていく所存です。春季生活闘争は、労働組合が要求しなければ働く者の処遇の改善のみならず、経済の好循環の原動力である賃金の上昇もありません。労働組合の有無によって賃金上昇に差が生じている実態からも、集団的労使関係の構築も重要です。賃金と物価が持続的かつ緩やかに上昇するサイクル、経済全体の好循環に向けて、また、全ての働く者を対象とした処遇改善のけん引役として取り組まなければならないと強く思うところです。

構成組織のみなさまの引き続きのご奮闘とともに、賃上げの機運を高める運動など、連合が果たすべき役割へのお力添えも賜りますようお願いいたします。



連合千葉 永富会長

過労死等ゼロに関する街宣行動を実施

連合千葉は、過労死等防止対策推進法で「過労死等防止啓発月間」と定めてらている11月に向けて「過労死等ゼロ」を広く周知・意識啓発を図ることを目的に、10月29日(水)JR千葉駅前にて連合千葉事務局が街宣行動を通じて世論喚起を行いました。

当日は中島事務局長が司会を務め、弁士として永富会長が登場し、過労死等ゼロに向けた強い想いを訴えた。また、厚生労働省主催の「過労死等防止対策推進シンポジウム」が11月11日に開催されることもあり、シンポジウムへの参加を呼びかけるアピールも行いました。

働き過ぎで命を奪われることは断じてあってはならず、労働組合は長時間労働の是正に懸命に取り組んでいるものの、正社員の労働時間は依然として高止まりしており、昨年の過労死等にかかわる労災請求件数は過去最多となっています。

連合千葉は今後も「過労死等ゼロ」をめざした取り組みを継続していきます。



【政策実現・政治活動】

18期後半年度は、昨年10月の衆議院選からはじまり、国政・知事選・参院選といった大型選挙、県内では中間地方選挙も多く執行されました。とりわけ、直近の参議院選挙では、連合が必達として掲げた与党の改選過半数割れを超え、参議院全体でも過半数割れを果たすことができました。このことによって、衆・参ともに与党の過半数割れとなり、連合の政治方針である「政権交代可能な二大政党的政治体制」に近づいたはずですが、残念ながらそうはなっていないのはご承知のとおりです。あらたな内閣のもと労働時間の規制緩和の検討も行われています。これまでの政府・与党の印象が現時点では拭えませんので、国民目線の政策実現が進むのか、極めて不透明であり懐疑的であるとも言えます。私たち労働組合が政治活動を行う目的は、政策の実現にあります。

組合員や関係者に連合・構成組織が取り組む政治活動の必要性を理解していただく「組織内徹底」を第一義に、国政に限らず、各級議会において、推薦議員を中心として国民・県民目線、働く者のための政策実現に向け理解者を増やし取り組んでもらうことが、私たちが取り組む政治活動の意義であると考えています。

【組織拡大・強化】

連合本部大会で、組織拡大は一番の優先課題である旨の方針が示されました。持続的な組織運営の基盤は、組織力の維持・強化にあり、その源泉は、組織に集う仲間を増やしていく事にあります。

また、もう1点重要なことは、集団的労使関係によって働く人を守るということです。各構成組織では、同様の認識のもと積極的に取り組んでこれられていると思いますが、組織拡大の取り組みは簡単ではありません。連合や労働組合が、働く者を守ってくれ、加入して良かったと思える存在であると広く認知されるために、様々な場面で発信していくことが、連合の運動領域であるとも思っています。組織拡大は、連合・構成組織ともども共通の取り組みです。情報交換をはじめ、引き続きの連携をお願いいたします。

【ジェンダー平等の推進】

ジェンダー平等推進の入り口でもある男女平等・女性参画は、連合結成以来30年以上取り組んでいますが、働き活躍する女性が増えていながらも、残念ながら進んでいない状況にあります。多様化する働き方が当たり前となっている昨今において、その入り口とも言える女性参画が進まなければ、いわゆる男性中心の慣行に見られがちな、旧態依然・前例踏襲といった、古い慣習からの脱却や、変化に対応できるスピード感を持った組織運営のもと、多くの方から共感が得られる運動にはなり得ないという危機感を持っています。

連合・連合千葉ではジェンダー平等推進計画フェーズ2を策定し、既に全構成組織でも展開されていますが、多様な人材が働く今日の職場における様々な課題を拾い、対応するためにも、構成組織における女性役員の登用、女性役員の派遣も、これまで以上に積極的に取り組んでいただきたいと思います。組織拡大同様、連合・構成組織共通の取り組みであります。多くの方々が組合活動に参画しやすい風土の醸成を、連合千葉としても心がけていきたいと思っていますので、ご意見や要望等をお寄せいただければと思います。

【結びに】

国内外において、様々な課題や懸念が山積しています。私たち連合は、頼りになる存在であるか、何をすべきか、そのような点で運動方針を提起いたしますので、活発かつ建設的な意見討論をお願いしたいと思いますし、その先には、更なる組織強化に繋がり、共通認識を醸成する定期大会となりますことをお願い申し上げます。冒頭の挨拶といたします。ともに頑張りましょう！



会場の様子

安心社会へ 果敢にアクション!

～広げよう「理解・共感・参加」の輪～

連合千葉は、10月24日(金)「ホテルポートプラザちば」において、多数の来賓を迎えて、執行部、代議員、特別代議員、傍聴者を合わせ156名の出席のもと、「連合千葉第20回定期大会」を開催いたしました。大会は、2025年度経過報告に続き、「連合千葉規約・規則の一部改正」「2026～2027運動方針」「2026年度予算」「役員改選」等、6つの議案について活発な議論のもと、すべての議案を満場一致で可決し、大会スローガン・大会宣言が採択され、第19期連合千葉の運動に向け、連合千葉永富会長の音頭で会場全体の「団結がんばろう」にて成功裡に閉会いたしました。



中島 事務局長



田嶋 副事務局長



がんばろう三唱



【議長】大倉美紀代議員・伊藤 賢代議員



連合千葉第20回定期大会をもちまして、以下の役員のみなさまが退任されました。在任中のご尽力に感謝申し上げます。



副会長	平野 盛士(基幹労連)・板倉 淳吾(自動車総連)・杉澤 明人(JP労組)・和田 洋(JAM東京千葉)・外 慎一(電機連合)		
副事務局長	等々力 康広(基幹労連)	会計監査	山口 昌宏(JEC連合)
執行委員	津崎 暁洋(フード連合)・岡田 麻美(JAM東京千葉)・戸畑 涼太(自動車総連)・坊野 正武(UAゼンセン) 松崎 菜津美(電力総連)・林 太地(政労連)・石塚 貴義(情報労連)・菅 博一(JP労組)・佐藤 貴夫(交通労連) 高取 隼人(労済労連)・古川 陽平(千教組)・佐藤 悠介(航空連合)・高橋 大輔(全国ガス)		

連合千葉第19期より18の方が新たに役員になりました。



副会長
齋藤 兼一
(JAM東京千葉)



副会長
鈴木 洋暁
(電機連合)



副会長
松本 祐
(自動車総連)



副会長
水野 準一
(基幹労連)



副事務局長
高野 舞
(情報労連)



会計監査
谷崎 祐弥
(JEC連合)



執行委員
伊豆 啓介
(UAゼンセン)



執行委員
川本 貴志
(自動車総連)



執行委員
嶋田 海斗
(政労連)



執行委員
島村 修二
(フード連合)



執行委員
清水 康平
(電力総連)



執行委員
多田 雅弘
(情報労連)



執行委員
戸田 健一
(JAM東京千葉)



執行委員
名輪 祐己
(政労連)



執行委員
松井 大弥
(航空連合)



女性代表執行委員
久保 多佳子
(航空連合)



女性代表執行委員
鈴木 紗弥香
(基幹労連)



女性代表執行委員
吉田 有希
(電力総連)

